

第2回神田警察通り沿道整備推進協議会 議事要旨

■日 時：平成23年11月16日（水）18：30～20：00

■会 場：千代田区役所4階 研修室A・B

■出席者：

〔委員〕

●●会長

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

●●委員・●●委員・●●委員・●●委員・●●委員

山口委員（まちづくり推進部長）

小山委員（道路公園課長）・坂田委員（景観・都市計画課長）

濱本委員（まちづくり推進部副参事）

〔オブザーバー〕

警視庁神田警察署 高梨交通課長（代理出席：菅原）

警視庁万世橋警察署 須藤交通課長（代理出席：椎名）

神保町出張所 櫻片所長

神田公園出張所 峯岸所長

〔事務局〕

神田地域まちづくり課・UR都市機構

1. 開会

2. 議事

（1）今後の進め方について

資料1、資料2について事務局より説明

【事務局】

- （仮称）賑わい創出部会の時限設立し指針を策定したい。今年度は準備期間として、来年度の部会設置にむけ専門家と骨組みを議論する。来年度前半で賑わい創出部会で指針をまとめ、推進協議会に提言し、来年度後半に沿道整備部会、道路整備部会を立ち上げ提言を受けた指針を活用しながら進めていきたい。来年度以降も協議会を開催し各部会の議論を報告する進め方としたい。
- 博報堂用地の建替計画については、来年度立ち上げる沿道整備部会で協議しているという形が望ましいが、時間軸としては早めの議論が必要であり、本日の推進協議会に計画を諮ることにした。

【会長】

- 博報堂のプロジェクトはリーディングプロジェクトとなる。

【委員】

- 賑わいの関係で、本郷通りから共立講堂に向かってはほとんど店舗がない。駅の方角には小さい店舗があるが、新しく店舗を作ったところで家賃が高く難しいのでは。

【会長】

- 賑わいイコール商業ではない。学士会館に人が集まるのは、あそこを求めて色々な人が集まるため。そういう人たちが集まって人が増えればそれが賑わいとなり、警察通り 1.2km を全部商業で埋めようという発想ではないと理解している。文化施設、芸術施設があれば人が寄って来る。昼のまちもあるし、夜のまちもある。色々な場面で人が集まり、そこで賑わって交流する空間を警察通り、周辺のまちづくりで実現したい。千代田区の秋葉原とか大手町と比較すると少し落ち込んでいるような神田地区を活性化できる。そこが狙いであり、賑わいイコール神田駅周辺ではないと理解している。今は夜になったら人影がほとんどないような状態だが、これを秋葉原のように夜も人が沢山いるというようになればたらこんなにいいことはない。

【まちづくり推進部長】

- 今後道路も人がゆったり歩きながら、歩いていて快適な空間も造り、(仮称)賑わい創出部会ではハードもソフトも含めて、大手町、御茶ノ水、秋葉原からの人の流れをトータルに専門の先生からのお知恵を借りながらまとめ、次の展開として、例えば学術のところでシンボリックに演出ができたり、色々なものが組み合わせりながら進めていくと考え得ている。警察通りを中心に活性化させる色々な知恵出しを賑わい創出部会で行い、この協議会に諮って方向性を定めていく。

【委員】

- まず、神田警察通りをどうやって、いかに綺麗にするかが問題。その後に店舗とか人とかそういうのがついてくる。

【会長】

- それについては両方あると思う。道路ありきでそれに依存してまちを考えるか、むしろまちとしてどうなりたいのか。これは、商業者だけじゃなく、今度の博報堂のビルもそうだが、色々な要素があり、全体で活力あるまちにしたい。その一翼を道路が担うということで全体のまちづくりの中で順序良くやっていくのが一番良い。

【委員】

- いい例が丸の内の仲通り。あそこは通りが綺麗になった。歩道が広がって車道のところには石を敷いて、その後、周りのビルに店舗が入ってきた。

【まちづくり推進部長】

- 仲通りも今回と同様に、道路整備だけ先行し、後から店舗が入ってきたわけではなく、ガイドラインを作って、その中で道路整備、まちなみ等の方向性をトータルで位置づけ、各役割の中でまちづくりを進めてきた。従って、道路もまちを構成する大きな要因で、沿道のまちなみもその大きな要因なので、一番いい形になるようにやっていきたい。道路の整備は大切なことだとしてしっかり認識して考えていきたい。

(2) 神田警察通り沿道の建替計画について

資料3について事務局より説明

【事務局】

- 神田警察通りの整備構想では道路整備に加え、その沿道地域を特色あるまちにしていくといったことが大きなポイント。構想策定後に行なわれる規模の大きい建替計画の第1号として、沿道地域の西側に位置する博報堂の建替計画の動きがあり、これを神田警察通り沿道の活性化に向けたリーディングプロジェクトとして整備構想の実現に向けた足掛りとしていきたい。
- 計画事業者の代表である住友商事と区で調整を行い、整備構想を踏まえた計画としてきた。その整備の方向性のたたき台についてご意見いただきたい。
- 前回の協議会で沿道の建替計画の事業者について、オブザーバー参加の了承をいただいたので本日、住友商事が同席している。
- 神田警察通り整備構想のポイントとして、道路整備については「車中心から人中心の道路」、「歩道を拡幅するとともにみどり豊かな並木道を整備し、併せて自転車道を整備し、まちの東西を貫くシンボルロードとする」、沿道の取組みについては「沿道を三つのゾーンに分け、それぞれの特色を活かしたまちなみを形成する」としており、沿道の建物低層部にはゾーン毎の特徴をもった施設や、生活利便施設等を誘導していき、まとまったオープンスペースの整備をしていくということを皆様と一緒に作り上げてきた。整備案の基本構想の中で1.2kmの警察通りを東側から「食・賑わいゾーン」、「文化・交流ゾーン」、「歴史・学術ゾーン」としている。博報堂の建替用地は、「歴史・学術ゾーン」に存在しており、文教・学術施設が集積し歴史的な建造物が個性的な景観を形成している。ただ、オープンスペースが不足しているというような現状を整備構想の中で整理し、沿道での開発やある程度大きい施設を建替えていくときに、基本的には誰もが使えるまとまったオープンスペースの整備、賑わい憩いの場に寄与する施設の誘導、来街者の増加に対応する交通施設の整備、駐車対策に寄与する公共の駐車スペースを設けてもらいたいという

ような整備構想を作ってきた。

- 建替用地周辺の現状と特色としては、沿道地域の憩い潤い機能の不足、公園等が不足しており、神田警察通り周辺では、神田児童公園のみが大きい公園である。二番目として東日本大震災後、地域の防災機能の充実の必要性が出てきている。また、地域を特色として共立講堂や学士会館など歴史的な建物が集積しており、神田警察通り東側からの視認性が高い立地特性がある。このような現状とまちの将来像を見据えて博報堂の建替計画については、神田警察通りのまちづくりのリーディングプロジェクトとして、今後ほかに出て来るものに対していいモデルケースになってもらいたい。
- 二つの街区が同時期に機能更新される機会を捉えて敷地内にまとまったオープンスペースをつくってもらいたいということで、二つを一つにまとめるような計画を検討してきた。2街区で整備した場合は博報堂がハリボテ状になってしまい復元に限界があるが、警察通りのシンボルとするため、一体化した街区のオープンスペースの一角に博報堂を復元し、独立した博報堂がオープンスペースの中にあることによって、お互いに相乗効果が発揮される。
- 建物を一つにまとめることで、平面計画のプランも自由度が増していき、低層部に育成用途を設け、地域の方々に使っていただける店舗や賑わいの場を作っていく計画になっている。
- 省エネの観点からも二つの建物より、外壁の面数が減るので外壁の省エネの対策、熱負荷の低減ができ、設備の機械も一つにまとめることによって省エネになる。
- 区道は公園に用途変更してオープンスペースと一体化するような形とし、博報堂の視認性を確保するため、敷地の南東部に配置するのが望ましいと考えている。オープンスペースは約 500 m²と約 2100 m²の 2 か所に配置し、かなりのオープンスペースが確保で神田警察通りにも面しているため一体的な空間となるように創出する。また、植栽も多く入り、警察通りの沿道の植栽と博報堂のこの敷地の植栽、これが一体となって、緑の大きい空間が造れる。区道の機能については、南北の歩行者通路の確保をしていただきたいと考えている。

【委員】

- 住友商事のビルは神田に多数あり、企業として神田のまちづくりについてどう考え、中長期ビジョン的にビル事業に対してどのような計画があるかお聞きしたい。

【住友商事】

- 今は中央区の晴海の方に本社を移しているが、それまでは、美土代町や竹橋で、都合 40 年ほど神田の警察通りの界隈でお世話になってきた。そのご縁もあり、いくつかのビルを保有している。この警察通りの整備構想についても、是非とも我々なりにご協力を差し上げたいということで開発の計画を進めている。これから、千代田区と色々と相談をしながら

ら具体的な絵を描いていきたいと思っているため、是非とも地元の方々に使っていただける、貢献できるようなまちづくりをしていきたい。

【会長】

- 今回博報堂の建物は工事で2年くらいかかるとなると警察通りは平成25年度時点でこの道路側の一つの方針が出るならば、その時点での進捗状況はどうか。

【事務局】

- 区道の道路整備の取組みは一般的なスムーズにいった場合のスケジュールだが、平成24年度から警視庁との線形協議の入ると共に、測量・基本計画の内容に入る予定。当然、博報堂さんの敷地のオープンスペースとの一体性についてもこの中で考えていく。
- 1.2 kmを一度に整備するというのは困難なため、何期かに分けることになる。ちょうど左側の学術ゾーンの方の道路を整備していくということになれば一体になった整備の実現も可能ということが考えられる。

【委員】

- 工程表の下道路整備の取組みの中で、測量基本計画というのがあるが、これは測量と基本計画が別々に行なわれるのか確認したい。つまり、測量を終えて現地の状況を踏まえて、それに対して基本計画を作り、その基本計画については、道路部会である程度の方向性を踏まえて基本計画を行なうと捉えてよいか。

【事務局】

- 測量基本計画については、具体的なスケジュールというものが未確定なため一緒に書いているが、測量を踏まえて基本計画をとった流れになる予定。例えば協議会でご意見いただいた車中心から人中心への道にするということに伴い、パーキングメーターの廃止を含めて検討するという事で、新たな荷捌きの問題などの問題については、具体的にどうするのかということも基本計画の中で考えていかなければならない重要な課題である。計画が具体化する中で協議会にも諮り、ご意見を踏まえて計画に反映させていきたい。

【委員】

- 基本計画については、ある程度基本ラインは行政側の方で進めて、それに肉付けする方針に関しては道路部会の方で議論するという解釈して良いか。

【事務局】

- 仮称賑わい創出部会といったところでソフトが中心にハードも含めた基本的なガイドライン的なものを作成し、それを指針としながら具体的な取り組み内容については、道路整

備部会の中で意見を頂きながら詰めていく流れになる。ただそれ以前に、道路についての具体的な内容の議論ができる場合は、推進協議会の中で意見を頂きたい。

【委員】

- 博報堂の建替用地の整備の方向性について、一体化には基本的に賛成だが、オープンスペースの右上の角について裏面や側面の対応は開発側で可能なのか。

【事務局】

- 一体化した開発が望ましいが、共同化の取り組みの結果として参加されなかったというところを聞いている。建物が残ってしまうという形にはなるが、オープンスペースについては、当面考えていきたい。

【委員】

- 博報堂の開発については、既に日経新聞に再開発をすると発表されてるので、ある程度の開発についての青写真のたたき台を既に千代田区の方で用意されているのではないかと。その時、住民の意見がどの程度、取り入れられるかどうか疑問である。

【まちづくり推進部長】

- 委員が言われた日経新聞の件については、警察通りの取組みを区議会に報告したことを捉えて書かれているが、今後この警察通り沿道をよくしていくという内容の記事だったと認識している。
- 整備構想を踏まえた計画になるよう協議を行ってきており、一体的な整備によって大きなオープンスペースを整備していくことについては議論してきた。
- 次の展開として広場の活用方法や一階部分の必要な用途などについて様々な意見を頂きながら方向性を出していきたい

【委員】

- 神田警察通りの歩行者を中心にするということで安心している。神田駅の方は4車線、5車線もある交通量が神田駅の北口の交差点を越えると2車線になるため非常に危険。なので、まずは歩道を広げて欲しい。
- 千代田区の保健所の跡地、電気大学の跡地がどのように進んでいるのか。

【事務局】

- 電気大学に関しては、来年度4月に足立区に移転することになっているが具体的な話はまだあがってない状況。
- 旧保健所に関しては、区の庁内で用地の使い方をどうするのかというのを検討している

状況。電気大学をはじめとした計画の動きが出てきた段階で、この推進協議会でご意見を伺いながら計画を具体化していく形で進めていきたい。

- 電気大学の跡地についても開発の計画がでてくるとは思うが、開発の機を捉えるだけでなく、神田警察通り沿道全体で何を誘導していくかというものの必要だと考えているため、そういった部分を賑わい創出部会の中で検討していきたい。

【会長】

- 博報堂は歴史的な価値があり、保存することに非常に意味がある。その背後にはオフィスビルができるが、公益的貢献に伴い規制緩和がされ制度上、そこには育成用途と言ってオフィス床以外を整備しなくてはいけない。その育成用途部分については、地域がまちにとって必要なものを要望していくものである。

【委員】

- 住宅の整備が千代田区にとって一番大事なことはないか。

【事務局】

- やはりこの地域は、歴史学術ゾーンであり、このゾーンの特色をもたせるため低層部分に賑わいの要素となるものを入れていきたいと考えている。望ましい機能についてはご意見をいただきたい。

【会長】

- これからのまちは色々な機能が複合・融合することが大事であり、そうしないと夜は無人のまちになってしまう。そういう意味では住宅は必要なため、これから色々なプロジェクトの中で住宅も是非実現して欲しい。
- 神田警察通りの活性化プロジェクトの中で、博報堂プロジェクトはリーディングプロジェクトとして非常にいい役割を果たしている。歴史的なものを保存し、2100 m²のオープンスペースは一つの公園緑地みたいなものとして整備されるため、警察通りの整備とも直結して一つのモデルケースになる。次の動きとしては電機大学、旧保健所、神田警察署などあるが、一度動き出すと次々につながっていく。神田駅周辺についても何かのきっかけで動きがあれば一気に全体のイメージが変わっていくと思う。

3. その他

意見なし

4. 閉会

【事務局】

- 次回は来年1月ごろ開催を予定している。